



GHGT-11

第11回温室効果ガス制御技術国際会議の開催について

2011年12月1日

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

1. GHGTについて

- ✓ GHGT(International Conference on Greenhouse Gas Control Technologies)は、IEA実施協定の一つであるIEAGHG R&D Programme(RITEが日本代表機関)が後援する国際会議
- ✓ 温室効果ガスの制御技術について、特に近年ではCCS(CO₂回収と貯留技術)に係る研究が中心
- ✓ 基本的に、北米－欧州－アジア太平洋3地域が持ち回りで、2年毎に開催
- ✓ 2002年10月にはGHGT-6が京都で開催され、RITEがメインホストとして携わった

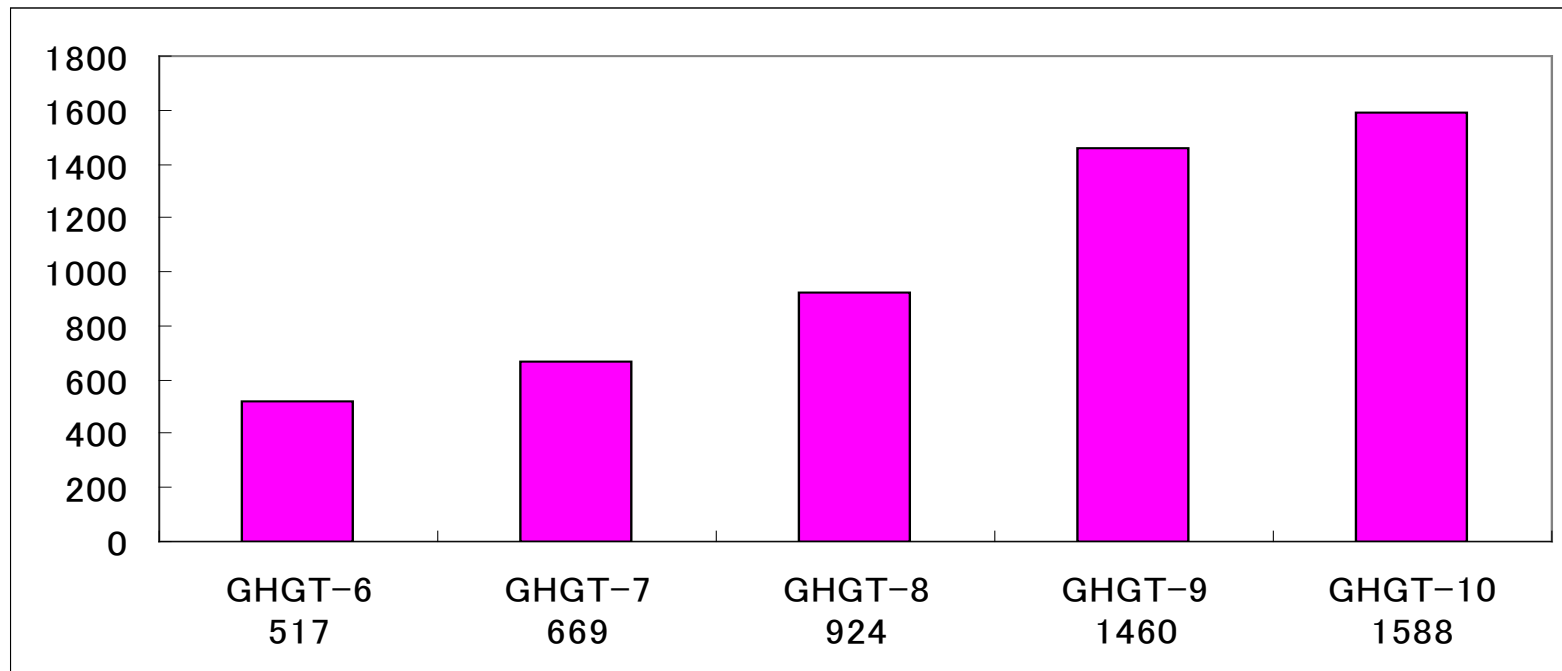
2. 開催実績

ICCCR- 1: 1992年 3月	アムステルダム(オランダ)
ICCCR- 2: 1994年10月	京都
ICCCR- 3: 1996年 9月	ボストン(アメリカ)

※ICCCR: International Conferences on Carbon Dioxide Removal

GHGT - 4: 1998年 8月-9月	インターラーケン(スイス)	※GHGTに名称変更
GHGT - 5: 2000年 8月	ケアンズ(オーストラリア)	
GHGT - 6: 2002年10月	京都	
GHGT - 7: 2004年 9月	バンクーバー(カナダ)	
GHGT - 8: 2006年 6月	トロンハイム(ノルウェー)	
GHGT - 9: 2008年11月	ワシントンDC(アメリカ)	
GHGT-10: 2010年 9月	アムステルダム(オランダ)	

3. 参加者数の推移



<数字出典>GHGT-6: RITE作成の会議実績

GHGT-7:「国際研究交流等を通じた地球温暖化防止関連技術に関する最新動向の調査研究報告書
(平成17年3月NEDO・RITE)」

GHGT-8:「地球温暖化防止関連技術に関する研究交流を通じた技術動向情報収集のための調査研究
成果報告書(平成19年3月NEDO・RITE)」

GHGT-9:GHGT-9 Conference Summary

GHGT-10:参加登録者リスト(2010年9月13日現在(含:追加分))

4.GHGT-11の概要

(1) 日程: 2012年11月18日(日)～22日(木)(於; 国立京都国際会館)

(2) 主催: RITE及びIEAGHG

(3) プログラム構成:

◆ 11月19日(月)～22日(木):

✓ 基調講演(全体会議)

✓ テクニカルセッション(各コマで5～6つ程度を併行開催)

・口頭発表 200～250件

✓ ポスターセッション(20日(火)・21日(水)に開催)

・ポスター発表 600～650件

◆ 11月22日(木)午後: パネルディスカッション、会議総括、閉会式

	11月18日(日)	11月19日(月)	11月20日(火)	11月21日(水)	11月22日(木)
午前		開会式 基調講演	基調講演	基調講演	基調講演
			テクニカルセッション4	テクニカルセッション7	テクニカルセッション10
午後		テクニカルセッション1	テクニカルセッション5	テクニカルセッション8	テクニカルセッション11
		テクニカルセッション2	ポスターセッションA	ポスターセッションB	パネルディスカッション
夜	ウェルカムレセプション (グランヴィア京都)	テクニカルセッション3	テクニカルセッション6	テクニカルセッション9	閉会式
			ネットワーキングレセプション (開催未定)	コンファレンスディナー (京都市内)	

(4) 論文要旨募集テーマ

- ① Advances in CO₂ capture technology development <CO₂回収技術>
- ② Development on CO₂ geological storage <CO₂地中貯留技術(塩水帯水層、天然ガス井・油井)>
- ③ Development in other storage options for CO₂ <その他貯留技術>
- ④ CCS for industrial sources (non-power) <電力以外の排出源とCCS>
- ⑤ Transport and infrastructure development <輸送、インフラ>
- ⑥ Towards negative CO₂ emissions <マイナス排出>
- ⑦ CO₂ utilization options <CO₂利用>
- ⑧ Demonstration projects and major national and international CCS research, development and demonstration programs <実証プロジェクトと主要な研究開発実証プログラム>
- ⑨ CCS technology assessment and system intergration <CCS技術評価とシステム統合>
- ⑩ Commercial issues <商業展開>
- ⑪ Public perception and acceptance of CCS and communication on CCS
<CCSに関する一般社会の認識と受容(PA)、情報伝達>
- ⑫ Energy and climate change policies and CCS <エネルギー・気候変動に関する政策とCCS>
- ⑬ Legal and regulatory aspects of CCS and long term liability of CO₂ storage
<CCSに対する法規制とCO₂貯留の長期的な信頼性>
- ⑭ Education, training and capacity building <教育、訓練、能力開発>

(5) 今後の予定

① 技術プログラムの検討

(a) 基調講演、パネルディスカッション等

✓ 2011年8月下旬から検討開始

(b) 論文の選定

✓ 2011年9月26日～2012年2月10日：論文要旨募集

✓ 2012年2月下旬～4月上旬：査読

✓ // 6月下旬：採択論文決定

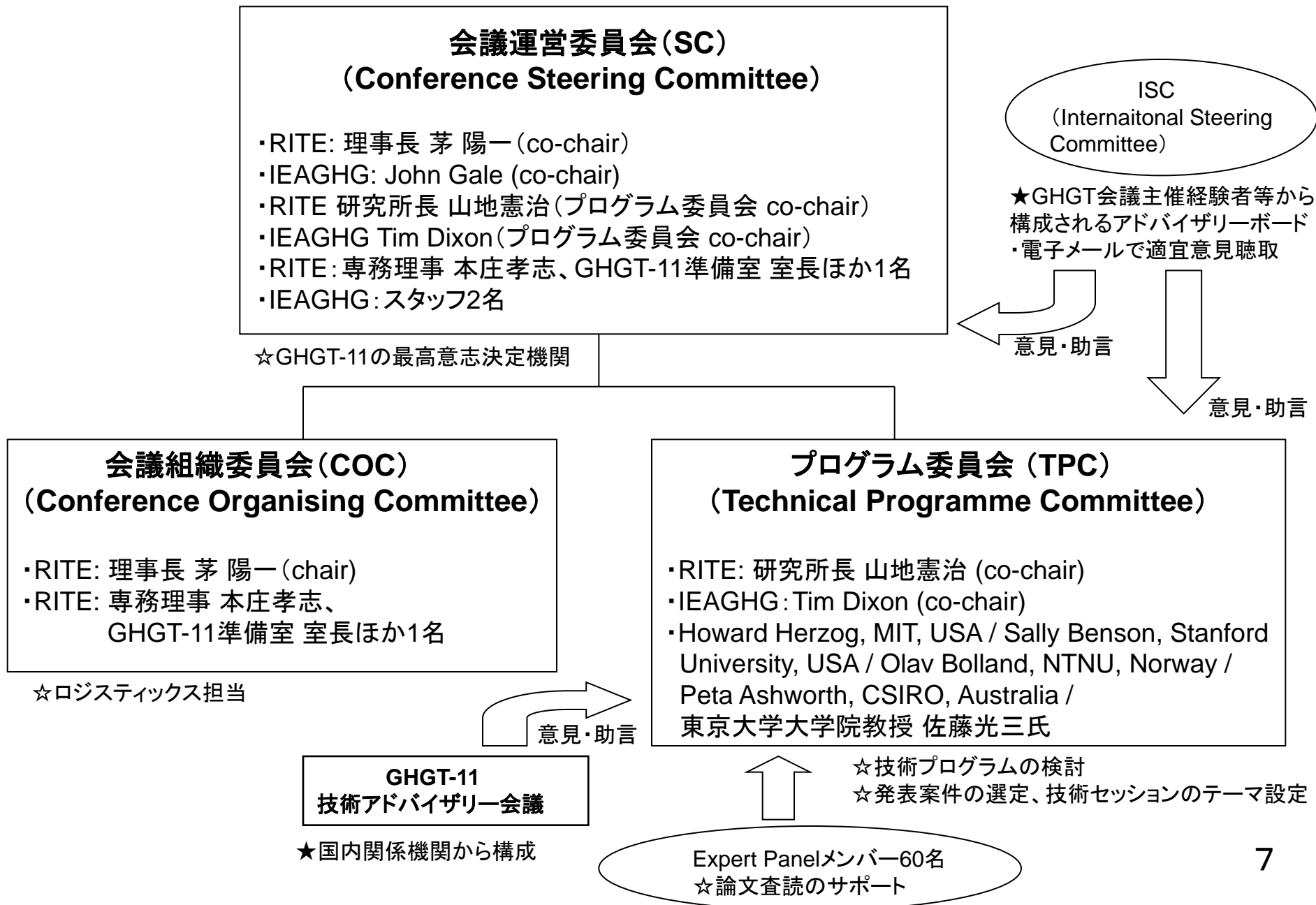
✓ // 10月下旬：論文提出締切り／最終プログラム確定

② 事前参加登録

✓ 早期割引登録期間：2012年4月中旬～7月中旬

✓ 一般登録期間：2012年7月中旬～11月17日

(6) 運営体制





RITE
Research Institute of Innovative
Technology for the Earth



GHGT-11へのご参加・ご協力を
何とぞよろしくお願い申し上げます！